

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 10 月 27 日(水)	開催時刻	15 時 30 分から 17 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 22 年度第 7 回)		
出席者	小林会長、宮本副会長、浅井委員、伊藤委員、河田委員、神林委員、久保田委員、栗内委員、佐藤浩委員、佐藤智恵子委員、塩入委員、中村委員、松澤委員、宮坂委員、宮島委員、村上委員、安井委員、山田委員 (欠席委員) 飯島委員、渡邊委員 (事務局)小宮山まちづくり協働課長、足立まちづくり協働課地域振興政策幹、林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(足立まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ			
皆さんからの地域の課題について私も拝見させていただいた。2 期 4 年にわたる協議会活動の総括については、事務局より後ほど報告をさせていただく。			
先月、市長から第一次上田市総合計画、地域まちづくり方針の見直しの検討について諮問を受けた。項目別に複数グループ化をして検討していただきたいと思う。その中で、地域の問題についても取り込みながら進めていきたいと思うので、ご理解とご協力をいただきたい。特に見直す必要のある案件について、あるいは関連する項目・内容との正当性について、我々が検証して答申していくことが基本的な姿になる。よろしく願いたい。			
3 会議事項			
(1)「地域まちづくり方針」の内容の進捗状況について			
資料:「地域まちづくり方針評価シート 上田中央地域」			
新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化			
歴史的な資源を保全・活用したまちづくり			
市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり			
自然環境の保全と共生によるまちづくり			
保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用			
地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり			
産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興			
より事務局から説明			

(2)「地域まちづくり方針」の今後の取り組みの方向性について

【主な質疑等】

(会長): 出来れば3つくらいのグループに分けて検討したいと思う。組み合わせについて、私なりに関連性を考えて分けさせていただいた。まず、「新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化」と「産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興」をAグループ。次に、「歴史的資源を保全・活用したまちづくり」と「市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり」「自然環境の保全と共生によるまちづくり」この3つをまとめてBグループ。最後に、「保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用」と「地域コミュニティを中心とした協働による地域を誇れるまちづくり」これはわがまち魅力アップ応援事業につながっていくと思うが、これをCグループにしたいと思う。7つの項目を3つに絞りこの様に考えてみてはどうか。

(委員): ははずしてもいいのではないか。健康プラザも出来上がり、産院も移転新築がほとんど決まり、長野病院の整備など、他の協議で行っている。

(委員): 長野病院の関係で、地域医療再生計画がスタートしている。5年間で長野病院の機能回復等進めるが、改めてまちづくり方針に載せる必要があるのではないか。

(まちづくり協働課長): 地域医療再生計画は、県の基金を使って事業を推進していく形になっている。見直しを検討していくということに関して、项目的にはこれを落としてという形にはならないと思う。見直しを進める上で、これは項目として見直さなくていいのであれば、見直しの対象からはずしていただいて、今後も継続してこれを進めていく形でいいかと思う。大幅に見直しをしていくのであれば、もう少し掘り下げた議論をしていただいてからになる。

(委員): 健康プラザと産院については具体的に動き始めた。項目はこのままで、長野病院を代わりにここに入れることは可能か。

(まちづくり協働課長): の中には長野病院の文言はない。連携や医療体制の充実だとか、そのような文言が入ってくるのであればいいと思う。確かにこれから信州大学との連携もかかってくるので、議論をしていただいたほうがいいのではないか。産院の中にも「ゆりかご」という施設が新設されるので、子ども・子育てを考えて議論していただいてもいいかと思う。

(会長): 今日の新聞によると、中心市街地に特別養護老人ホームを建設したいというような意向を市側が発表している。

(委員): 医療や福祉関係の問題について、何も提言する部分がないというのはどうかと思う。 の項目を検討して、 と をセットに考えてはどうか。

(会長): 分科会に分かれて、文言を変えて取り上げていくということであれば考え方

があると思う。

(まちづくり協働課長): 24 年度からの後期計画を作り上げていくときに、地域まちづくり方針と連動していなければならない。ご提案していただき、後期計画を作成するときに参考にさせていただく。保健センターの建設整備自体は終わっているが、人的活用・整備・ネットワークをどのように考えていくのかも議論し充実させていくことは必要だと思う。全く変えるより、中央地域協議会としてどのように文言の見直しを図っていくかということだと思う。

(会長): については拠点の整備という点ではすでに終わっている。しかし、健康福祉活動拠点は整備されたが、それに付随する問題はいくつかある。文言上ニュアンスを変えて、検討していく方向でよろしいか。

(まちづくり協働課長): 前期の基本計画では、市内全域を対象とした基幹保健センターの整備が、文言として入っている。これはすでに整備されたので後期の基本計画から落とされる。後期は、基幹保健センターを活用した施策を展開していく基本計画になってくると思う。そこに連動させるような中央地域協議会としての考え方をまとめていかれたらいいのではないか。

(会長): それでは大きなテーマになるが、次のようにグループ分けをしたい。

～分科会構成～

A グループ

テーマ: 新市の核となる都市機能の充実と中心市街地の活性化
産学官連携支援施設や伝統工芸など地域の特性を生かした産業の振興

B グループ

テーマ: 歴史的な資源を保全・活用したまちづくり
市民や来訪者が安心して行き交うまちづくり
自然環境の保全と共生によるまちづくり

C グループ

テーマ: 保健福祉活動拠点の整備と人的資源の活用
地域コミュニティを中心とした共同による地域を誇れるまちづくり

(3) 上田中央地域の課題について

資料: 「第 3 期 上田中央地域の課題について」より事務局から説明

○分科会による協議

(会長): これから分科会に分かれて、リーダーをお決めいただきたい。各グループには、事務局が 1 人入ることとする。

・正副リーダーを決める。

(4) その他

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成 22 年 11 月 29 日 (月) 開催予定

平成 22 年 12 月 20 日 (月) 開催予定

閉 会